00号
(令和7年)
(水曜日発行)
年会費3万3000円(税込)
automation-news.jp/

オートメーション新聞

～ものづくりを応援する専門紙～ Automation News

発行所:©ものづくり.jp株式会社 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-101-1 クロスゲート7階 TEL:050-3503-9311

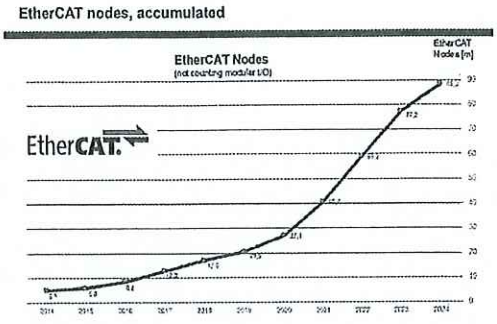
EtherCAT ノード数 全世界で8800万に到達

2024年は1100万ノード追加

産業用ネットワークの主役に

EtherCAT Technology Group(ETG)は、産業用ネットワークであるEtherCATの現状について、世界で8800万ノードに到達したと発表した。

EtherCAT(Ethernet for Control Automation Technology)は、ドイツの制御機器メーカー・ベッコフオートメーションが開発したリアルタイム性のある産業イーサネット技術。EtherCAT Technology Group(ETG)が管理団体として開発と推進を担い、2003年に発表後、IEC規格IEC61158で公開。07年にはSEMI規格の認証を取得し、半導体製造装置業界を中心に広がり、現在はさらに幅広い業界へと採用が広がっている。



ETGはEtherCAT20周年の23年に詳細なノード数を公開。03年にEtherCATが誕生して以来、14年に500万ノード、17年に1000万ノードを突破し、以降は19年に2050万ノード、20年に2710万ノード、21年に4070万ノード、22年に5910万ノードと年々普及が加速。23年には単年で1800万ノードが追加されて7720万ノードとなった。

24年は世界的なFA市場の低迷と半導体の過剰在庫の影響によって成長ペースは若干落ちたが、それでも1100万ノードが追加され、累計では8830万ノードに到達した。

ETG会員は世界でも増加しており、24年末でメンバー数は8000社・団体となった。内訳はアジアが43%、ヨーロッパが42%、アメリカが14%、その他が1%。日本は23年8月時点で800社が参加している。

安川電機、2025年2月期決算 売上高5376億円で減収増益

25年度 市場回復し増収見込み

安川電機は、2025年2月期通期決算を発表し、売上高は前年度比6・6%減の5376億8200万円、営業利益は24・3%減の501億5600万円、純利益は12・4%減の569億8700万円の減収増益となった。

セグメント別では、モーションコントロール事業の売上高は11・4%減の2388億円、営業利益は41・0%減の230億円。ACサーボは半導体市場が米州で堅調だったが、日本は回復遅れ、中国と欧州は低調。インバータは太陽光発電用パワーコンディショナが堅調だった。ロボット事業は、売上高は1・2%増の2374億円、営業利益は5・6%減の238億円。自動車市場の設備投資が低調だったが、受注済みの大口システム案件が売り上げに貢献。半導体ウエハ搬送ロボットの販売も増加した。システムエンジニアリング事業は、売上高は16・8%減の384億円、営業利益は5・2%減の46億円。

所在地別では、国内は6・5%減の1492億円、海外は6・6%減の3885億円で、海外売上比率は72%となった。中国を除くアジア地域以外だけが増収となり、他の地域はいずれも減収となった。

25年度通期見通しは、売上高は2・3%増の5500億円、営業利益は19・6%増の600億円、純利益は18・4%減の465億円の増収減益の見込み。セグメント別売上高では、モーションコントロール事業は1・2%増の2415億円、ロボット事業は4・2%増の2475億円、システムエンジニアリング事業は0・9%減の380億円とした。

25年度はMOTOMAN NEXTの市場投入の拡大、ソリューションビジネスへの移行加速、データセンター向け冷却ソリューションの取り組み強化、ロボット第5工場の竣工と生産自動化、省人化、内製化の推進に加え、半導体工程への拡販加速、インド市場の

第73回電設工業展
JECA FAIR 2025

国内最大の電気設備総合展示会「JECA FAIR2025(第73回電設工業展)」が、5月28日から30日まで大阪市のインテックス大阪で開催される。

同展は、電気設備に関する資機材、工具、計測器、ソフトウエア、システム等の新製品紹介を始め、施工技術や施工効率化、アカデミックの紹介、電気設備業界の魅力や働き方改革の取り組みの紹介など、あらゆる情報を発信する国内最大の電気設備総合展示会。73回目となる今回は、魅力ある、希望の持てる電気設備業界を目指し、地球環境を守り、平和で豊かな生活を次世代に継承し、持続可能な社会を実現するため、テーマを「電設技術が拓く新たな可能性・進み続ける世界と共に」とした。

万博との相乗効果に期待

来月28～30日 大阪・インテックス大阪で開催

大阪会場としては過去最大規模となる255社が出展し、電気設備に関する資機材、工具、計測器、ソフト、システム等の新製品・新技術を展示・紹介。また、初日にはプロ野球選手・監督の工藤公康氏による「未来を見据えた組織マネジメント」と題した特別講演が行われるほか、電気業界の魅力を発信するセミナーも予定されている。

製品コンクールには49社が参加。5月14日から公式サイト上で参加企業・製品が紹介される。優秀製品は国土交通大臣賞や経済産業大臣賞、環境大臣賞などの各賞が選ばれ、7月9日に表彰式を予定している。

またリアル展に先立ち、5月14日から6月30日を会期としてオンライン展示会をスタートする。

国際電業

「ものづくり王国」と言われる愛知県ですが、技術先行型のメーカーが多く、女性社長の数は少ない傾向にあります。こうした中で、ニッチな分野で圧倒的なシェアを誇るFA部品、空調ダクト用自動切断システムメーカーの国際電業では、初めての女性社長が4月1日に就任しました。就任までの経緯、抱負などについて古川朋恵代表取締役社長に聞きました。

――まず社長就任までの経緯をお聞かせください。

父の古川長武会長から

を生かし、やりがいのある仕事に従事しており、会社を継ぐという意識は全く持っていませんでした。そうしたところ、当社の規程に定める社長定年の歳が近づいた父から、後を継いでもらいたいとの打診を受けました。

突然の話で最初は戸惑いましたが、幼い頃から創業者である祖父(母の実家)の話を聞いたりしていたこともあり、細かい製品の仕様については分からないところもあります。入社以来、社内での対話を重視しつつ、今までの経験で培った視点も織り交ぜた事業方針など通常全般に従事してきました。

専門的なことはプロである仲間を信頼し、社内のコミュニケーションを大切にしながら、事業破綻の阻止や働きがいの

X波の加速により業界は変化しています。そこで、従来の工作機業界、医療機器業界に加え、美容関連、アミューズメント関連、海外など新たな柱となり得る業界でのニーズ拡大を図っています。

ACソレノイドに関しては、競合がないオンリーワンのメーカーになっています。オンリーワンに加え、動画で具体的な使用事例を紹介し、視覚イメージに訴える提案が可能となっており、新たな業界からの引き合いにもつながっています。今後販売に力を入れるインドを始め海外の展示会でもらいたいですし、そのための環境作りには、より力を入れていきたいと考えています。

――抱負については。

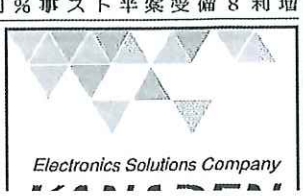
私は働くことは、「端

視野でできないと考えています。そこで、従来の

採用者の半数近くを女性が占めています。経験あって仲間となった方が性別に関係なくスキルを生かせるよう、職場環境を整えています。誰もが100%力を発揮、活躍してもらいたいですし、そ

経営面では、人事評価・賃金体系を刷新しま

灯台

ためにはヒーローが必要だ　私たち自らが小さな火種となれ

スポ
目立っ
ように
て憧れ
た活躍
ルが出
につな
と思ったら、
功者、ヒーロ
である▼例え
のあるヒー
う。彼の活
げ、野球に
れる子供た
もすれば彼
分野は違う
ーである。
存在が日本
んど増え
動画関連は
はりヒーロ
て興味を
た。豊田佐
など、世界
た人たちだ
くの人が純
た。しかし
念ながらそ
た。いま日
り、まさに
業が新たな
大事が必要